

エコアクション21 環境活動レポート (2018年度版)



エコアクション21
認証・登録番号 0005302

 土佐新高建設 株式会社

運用期間 2018年4月～2019年3月
発行日 2019年6月14日



目次

1.	組織の概要	-----	1
2.	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	-----	2
3.	環境経営方針	-----	3
4.	環境管理組織体制	-----	4
5.	環境目標	-----	5
6.	環境目標の実績	-----	7
7.	環境活動計画と実績	-----	9
8.	環境活動計画の取組結果とその評価	-----	13
9.	次年度の環境経営活動計画の取組内容	-----	14
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	-----	15
11.	代表者による全体評価と見直しの結果	-----	18

1. 組織の概要

事業所名および代表者名

土佐新高建設株式会社
代表取締役 西原靖

所在地

【本社】 高知県高知市北竹島町490 TEL.088-832-3931
【幡多営業所】 高知県四万十市三里1391 TEL.0880-38-2055

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名 工事部長 吉村直則
連絡先担当者 工事部長 吉村直則
連絡先 TEL: 088-832-3931
FAX: 088-832-3536
E-mail: n-yoshimura@tosashinko.co.jp

事業内容

建設業（主に 道路、スポーツ施設等の舗装工事を行っております。）

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可(特一27) 第 6237号
許可年月日 平成27年8月10日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 石工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

事業規模

設立 昭和 63年 4月
資本金 2,000万円
売上高(2018年4月1日～2019年3月31日) 965百万円
従業員数 34人(2019年6月1日現在)
事業所延べ床面積 本社:252 m² 幡多営業所:29 m²

会計年度

会計年度: 4月～3月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

全社の事業所及び現場

本社:高知県高知市北竹島町490 (常駐:27名)

幡多営業所:高知県四万十市三里1391 (常駐: 7名)

【レポートの対象期間】

2018年4月 ～ 2019年3月

【環境活動レポートの発行日】

2019年6月14日

(次回発行予定日=2020年 6月頃)

【作成責任者】

環境管理責任者 吉村直則

3. 環境経営方針

環境経営理念

土佐新高建設株式会社は、高知県内を主体に道路等の舗装工事を行っています。
地球や地域の環境を守り、美しい地球を子供たちに引き継いでいく為、
事業活動における環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

環境経営方針

- 1) 全部署の従業員に対して、環境経営方針を掲示等により周知させ、環境経営に関しての教育を行い、環境保全の重要性を高めるように啓発活動を行います。
- 2) *重機、車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
*建設作業及び本社業務における廃棄物排出量を削減します。
*業務における水使用量を削減します。
*化学物質の使用時は、購入～使用～廃棄まで一貫して適切に監視します。
- 3) 環境負荷の少ない工事を行います。
- 4) グリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
- 5) 環境関連法規並びに条例を遵守します。
- 6) 環境活動のP・D・C・Aを継続し、持続的に環境への負荷の低減を図ります。あ
- 7) 「環境経営レポート」を作成し、一般に公表します。

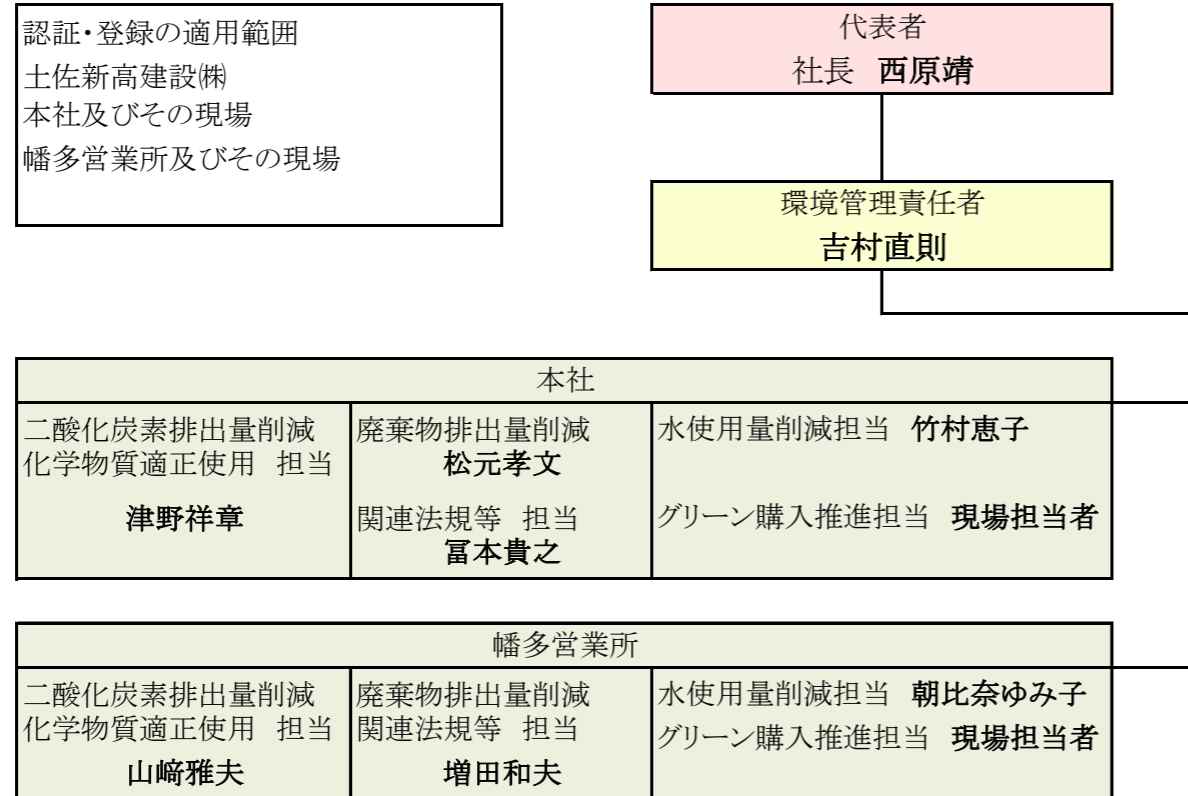
2019年4月22日

土佐新高建設株式会社

代表取締役

西原 靖

4.環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営活動計画・環境経営活動実施体制を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システム構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境経営目標・環境経営活動計画・環境経営活動実施体制を確認。 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。 環境経営レポートの確認。
ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能する。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境経営目標・環境経営活動計画・環境経営活動実施体制原案を作成。 環境経営活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境経営方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。

5-(1). 環境目標

対象期間 2018年4月～2019年3月

2018年度 単年度目標

総量の目標値

項目	単位	基準値	2018年度 目標
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂	266, 973	253, 624 (-5%)
燃料使用量	ℓ	90, 176	85, 667 (-5%)
電力使用量	k W h	35, 300	33, 535 (-5%)
廃棄物総排出量	t	4, 393	4, 173 (-5%)
廃棄物再資源化率 ※1	%	98	98以上
水使用量	m ³	630	599 (-5%)
グリーン購入	%	74. 2	78%以上
化学物質適正管理	工事件数	使用を監視し、適正に管理する。	全工事
環境負荷の少ない工事件数割合※2	%	100%	100%

売上高百万円当たりの目標値

項目	単位	基準値	2018年度 目標
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂	366	348 (-5%)
燃料使用量	ℓ	124	118 (-5%)
電力使用量	k W h	49	47 (-5%)
廃棄物総排出量	t	5. 74	5. 45 (-5%)

※1 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、機械重量4 t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する工事。

※ 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0. 000529 t-CO₂/kWh

プレミアムグリーンパワー(株) 0. 000 t-CO₂/kWh

5-(2). 中・長期目標

総量の目標値

項目	単位	基準値	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標	
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂	266,973	264,303 (-1%)	261,634 (-2%)	258,964 (-3%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23,219	23,916 (+3%)	23,683 (+2%)	23,451 (+1%)
	軽油	ℓ	66,957	70,974 (+6%)	70,305 (+5%)	69,635 (+4%)
電力使用量	k W h	35,300	24,357 (-31%)	24,004 (-32%)	23,651 (-33%)	
廃棄物総排出量	t	4,393	3,558 (-19%)	3,514 (-20%)	3,470 (-21%)	
廃棄物再資源化率 ※1	%	97.7	99以上	99以上	99以上	
水使用量	m3	630	460 (-27%)	454 (-28%)	447 (-29%)	
グリーン購入	%	74.2	79.4 (+7%)	80%以上	81%以上	
化学物質適正管理	工事件数	使用を監視し、適正に管理する。	全工事	全工事	全工事	
環境負荷の少ない工 事件数割合※2	%	100	100	100	100	

※1 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、機械重量4 t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する工事。

※3 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh

プレミアムグリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

売上高百万円当たりの目標値

項目	単位	基準値	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標	
二酸化炭素排出量 (削減率%) ※3	k g -CO ₂	366.0	275.3 (-25%)	270.8 (-26%)	267.2 (-27%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	32.0	24.9 (-22%)	24.6 (-23%)	24.3 (-24%)
	軽油	ℓ	92.0	73.9 (-20%)	72.7 (-21%)	71.8 (-22%)
電力使用量	k W h	49.0	25.4 (-49%)	24.5 (-50%)	24.0 (-51%)	
廃棄物総排出量	t	5.74	3.71 (-35%)	3.67 (-36%)	3.62 (-37%)	

本年度、会社代表者の交代、現場管理者の移動もあり、環境経営活動の目標値を見直す。

- ・売上高目標：現場管理要員が減少しているが、昨年度並960百万円をキープする。
- ・総量目標：売上を同等と想定して、昨年度実績-2%程度に設定する。
- ・原単位目標（売上高百万円当たり）：総量目標/960により算出

6. 環境目標の実績

対象期間 2018年4月～2019年3月

- ※ 達成率=(実績値/目標値-1)*100 (%)
(数値がマイナスであればより削減できたことを表し、プラスであれば目標値に達しなかった事を表します。)
- ※ 実測値の()の数値は基準値に対する削減比率です。
- ※ 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。
- ※ グリーン購入の目標値は、当社の主たる事業活動である舗装工事において使用する砕石とAs.合材の再生材料の使用率とすることに改めた。

各項目の総量の実績							
項目	単位	基準値	2018年度 目標値	2018年度 実績値	達成率 (%)	実績費用 (万円)	単価 (円)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	266,973	253,624 (-5%)	269,495 (+0.9%)	+6.3	1,426	53
燃料使用量	ℓ	90,176	85,667 (-5%)	98,838 (+9.6%)	+15.4	1,256	127
電力使用量	kWh	35,300	33,535 (-5%)	25,157 (-28.7%)	-25.0	74	29
廃棄物総排出量	t	4,393	4,173 (-5%)	3,645 (-17.0%)	-12.7	576	1,580
廃棄物再資源化率	%	98	98 以上	99.996 (+2.0%)	+2.0		
水使用量	m ³	630	599 (-5%)	475 (-24.6%)	-20.7		
グリーン購入	%	74.2	78 以上	77.9 (+5.0%)	-0.1		
化学物質適正管理	工事件数	使用時には 適正に管理する。	全工事	使用なし	-		
環境負荷の少ない工事件数割合 ※1	%	100	100	100	100		

※ = 目標を達成した項目 = 目標を達成しなかった項目

※ 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO₂/kWh

プレミアムグリーンパワー(株) 0.000 t-CO₂/kWh

※1 機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する工事。

※ 集計の詳細は、「環境への負荷の自己チェック」による。

(6. 環境目標の実績)

各項目の原単位(売上高百万円)当りの実績							
項目	単位	基準値	2018年度 目標値	2018年度 実績値	達成率 (%)	実績値-基準値	利益 (円)※1
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	366	348 (-5%)	279 (-23.8%)	-19.8	△ 87	4,611
燃料使用量	ℓ /百万円	124	118 (-5%)	102 (-17.7%)	-13.6	△ 22	2,794
電力使用量	kWh /百万円	49	47 (-5%)	26 (-46.9%)	-44.7	△ 23	667
廃棄物総排出量	t /百万円	5.74	5.45 (-5%)	3.78 (-34.1%)	-30.6	△ 1.96	3,097
<p>2018年度の売上高は 965 (百万円)でした。</p> <p>※1 売上高百万円当たりの利益とは、各項目の(本年度実績値-基準値)*単価により算出しました。 単価は、前ページの各項目の実績に要した費用に対する単価です。</p> <p>二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量の削減の環境活動により、基準値に対し売上高百万円当たりでは、4,611円+3,097円=7,708円となっております。</p> <p>2018年度の売上965百万円あたりでは、7,708*965=7,438,220円コストダウンしたことになります。</p>							
<p>○ 想定していた売上高(730百万円)に対して、本年度売上高は965百万円であったため、燃料使用量が増加し、それに伴い二酸化炭素の排出量も増加しました。</p> <p>○ 大型工事において再生材料を使うことができなかったことがあり、グリーン購入割合を伸ばすことができませんでした。</p> <p>○ 売上高百万円あたりの数値は、各項目とも目標値を達成することができました。</p>							

7. 環境活動計画と実績

日常の業務の中で、下記の項目の環境活動の計画を立て活動してまいりました。

 実施
 計画

対象期間 2018年4月～2019年3月

(1). 二酸化炭素排出量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社 営業所	本社:竹村 幡多:朝比奈	昼休み・退社時の消灯。	電気代 前年度並																
		エアコンの温度は省エネ設定にする。(夏28℃・冬20℃)																	
		パソコンの電源はこまめに切る。オートストップ。																	
		事務所内は必要な箇所のみ点灯																	
現場	本社:津野 幡多:山崎 統括:津野	重機のアイドリングストップ運動を推進する。	燃料使用量 前年度並																
		作業指示書にEA21欄を設けてミーティングを行う。																	
		車両のエコドライブに努める。																	
		給油量を記録して燃費の計算をする。																	

2. 廃棄物排出量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社 営業所	本社:松元 幡多:朝比奈	段ボール等を再生業者に出す。	ゴミ排出量 前年度比 -2%																
		ゴミを種類毎に計量し、記録をとる。																	
		ミスコピー紙の裏面再使用。																	
		両面印刷の徹底。																	
現場	工事担当者	再生砕石を使用する。	使用量ロス 8%以下																
		再生合材を使用する。																	
		運搬・処分委託契約	再資源化率 98%以上																
		処分場の確認																	
		マニフェスト伝票による管理を徹底																	

3. 水使用量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社	本社:山崎 幡多:朝比奈	蛇口締め忘れが無い確認	水道使用量 前年度比 -2%																

4.グリーン購入

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社 営業所	本社:竹村 幡多:朝比奈	再生コピー紙を購入する。	文具購入代金の 96%以上	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
		エコマーク文具を選定購入する。		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
		コピー機カートリッジをリサイクル業者に渡す。		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
現場	工事担当者	再生砕石を使用する。	使用量ロス 8%以下	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			
		再生合材を使用する。		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			
		元請工事の工事看板の一部に間伐材を活用する。		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			

5.化学物質適正管理

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
現場	工事担当者	工事において使用する材料の化学物質を監視する。 化学物質を含む材料の使用、廃棄については事前に 打合を行う。	全工事	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○			

6.地域貢献活動

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
全社	松元	ロードボランティア活動	年8回	○	☺	☺	☺	☺	○	☺☺	○	☺☺	☺	○	☺				
		88ウォークへの参加	毎年8月8日					☺											
	工事担当者	現場周辺道路の清掃	工事施工日	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺				
	吉村	環境活動レポートの顧客、取引先への配布	改訂毎			☺	○												

7.自らが生産・販売・提供するサービスに関する事項

部署	担当者	活動内容	目標値	2018年												2019年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
現場	工事担当者	機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する	工事件数 90%以上	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○			
		施工計画書にEA21を明記する	全元請工事	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			

2018年度の環境活動トピックス

< 地域貢献 >

ロードボランティアを2018年度も引き続き
行っております。
ゴミ拾いも慣れたものです。
(高知市棧橋通)



< 工事現場での環境コミュニケーション >

現場近くの神社の清掃を地元の方々で行いました。
大みそかのことです。
きれいになってお正月を迎えることができました。





< 工期短縮 >

ICT(情報通信技術)による舗装工事を高知県発注工事で初めて当社が施工しました。測量機械と重機が情報通信で結ばれております。重機は測量機械からの情報を基に常に正確に自動制御されます。1/2の時間で施工することができ、燃料節約に大きく貢献しております。



< 非常時訓練 >

消火訓練を毎年行っております。いざという時の為に訓練を続けております。



8.環境活動計画の取組結果とその評価

1.二酸化炭素排出量の抑制

基準年に対して工事出来高が増加しているのに伴い、二酸化炭素排出量及び燃料使用量の総量では増加しています。しかし、本年度の売上高に対する排出量では-23.8%であり、環境活動の成果が表れています。これを金額で試算すると、4,611（円/百万円）*965（百万円）=¥4,449,615-であり、環境活動を行うことで約445万円のコストダウンを行ったこととなります。

2.廃棄物総排出量の抑制

廃棄物排出量の総量、売上高当りの排出量の双方とも目標値を満足しております。しかし、例年ではコンクリート塊とアスファルトコンクリート塊のいわゆる「がれき類」がほとんどであったものが、本年度は木材、廃プラスチック、金属くずなど多様な廃棄物が発生しております。今後、多様な廃棄物の発生に対して適正な処分を管理していく必要があります。

3.水使用量の抑制

事務所の節水に努め、目標値以上の抑制をしております。

4.グリーン購入

当社の主たる事業の舗装工事に使用する、砕石及びAs. 合材の使用量のうち、再生材料を使用する割合をグリーン購入の指標としております。本年度は78%の材料を再生材料とすることを目標としておりましたが、実績は77.91%であり、ほぼ目標値通りの結果でした。しかし、県道土佐伊野線工事の路盤工の砕石に新規砕石を使う必要があったことや、国道56号の舗装修繕工事の表層材料が新規合材であったことなど注目すべき工事はありました。

5.化学物質の適正管理

現在のところ、工事に使用する資材としては化学物質を含有する物はありません。

6.環境活動、教育・訓練

予定しておりました活動計画は実行されております。各人の環境についての意識の持続を図るために、毎月の環境協議会における啓蒙、現場のミーティング時の指示書の活用を継続しております。

7.環境関連法規等の遵守

コンプライアンスの遵守は会社の存続にかかわります。今後とも事業の各部門で法令を遵守してまいります。

8.内部・外部コミュニケーション

日々の作業安全指示書にエコアクション21の環境活動の予定を挙げてミーティングし、従業員の環境保全に対する意識を継続しております。県道土佐伊野線工事では、地元の神社の清掃を町内の方々と共に行いコミュニケーションを図りました。2018年度1年間において、環境に関しての外部からの苦情はありませんでした。

9. 次年度の環境経営活動計画の取組内容

項目			担当者	備考
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター	
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者	
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者	3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
		○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈	
		○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	竹村：山崎：朝比奈	
		○空調機の温度設定(夏28℃、冬18℃)	竹村：山崎：朝比奈	
○不使用時のパソコンの電源OFF		技術職・事務職員		
水使用量削減 (排水量削減)	○工事に自然水(河川水等)利用	オペレーター		
	○食器等のまとめ洗い	炊事婦		
	○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者		
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	集計表に計量値を記録
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員	再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員	
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者	
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者	
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者	工事毎発注者へ報告。年間総括を県・高知市へ報告。
グリーン購入	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈		
	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者		
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元		
化学物資排出量削減	○化学物質とならない材料の選定	工事担当者		
	○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない。	工事担当者		
	○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者		
環境負荷の少ない工事实施	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者		
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者		
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者	工期の短い工法への変更も検討する。	
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者	県工事は工事毎県へ報告	

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況（法規）

対象期間 2018年4月～2019年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松元	遵守	2019/4/19
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松元	遵守	2019/4/19
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松元	遵守	2019/4/19
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松元	遵守	2019/4/19
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	松元	遵守	2019/4/19
	第14条	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	松元	遵守	2019/4/19
	第14条の一12項 規則第8条	○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務 ○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	松元	該当なし	2019/4/19
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松元	遵守	2019/4/19
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	松元	遵守	2019/4/19
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	松元	遵守	2019/4/19
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	富本	遵守	2019/4/19

振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	富本	遵守	2019/4/19
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン:200ℓ 第2石油類 灯油、軽油:1,000ℓ 第3石油類 重油:2,000ℓ 第4石油類 潤滑油:6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	富本	該当なし	2019/4/19
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2019/4/19
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条 第5条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO ₂ -t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン:3.7kW以上50kW未満 エアコン:50kW以上 冷蔵機器、冷凍機:3.7kW以上	年1回 1回/3年 1回/年 1回/年	富本	該当なし	2019/4/19
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	富本	該当なし	2019/4/19
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、 排水渠等の設置	必要時	富本	遵守	2019/4/19
水質汚濁防止法	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない 排出水の排出制限	必要時	富本	遵守	2019/4/19
	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時	富本	遵守	2019/4/19

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (法規)

2018年 4月 1日より 2019年 3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 (条例)

対象期間 2018年4月～2019年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	富本	遵守	2019/4/19
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	富本	遵守	2019/4/19
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	富本	遵守	2019/4/19
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2019/4/19
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	富本	遵守	2019/4/19
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、サーチライト照明等の設置	必要時	富本	遵守	2019/4/19
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2019/4/19

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)

2018年 4月 1日より 2019年 3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し

様式 KY-006-1

社長サイン

西原 靖

情報の報告				社長の評価・指示	
(環境管理責任者による報告) 報告日: 2019年6月10日				2019年6月10日	
[取組状況の報告]				[環境方針]	
①関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありませんでした。				2017年度ガイドラインに沿って変更する。	
②問題点の是正処置状況 今期内での問題点の是正はありませんでした。				変更の必要性: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
③前回までの社長の指示事項への対応 指示を受けておりましたとおり、環境活動と経営をリンクした視点で活動を継続しております。 2018年度の活動実績は下記のとおりです。				[目標・活動計画]	
[目標・環境活動計画の達成状況]				エコアクション21の環境活動は順調に継続されている。	
目標項目	目標値 達成状況	環境活動 達成状況	コメント	変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
二酸化炭素削減	△	○	総排出量は増加しておりますが、売上高当たりの排出量は目標値より大幅に良い結果となりました。		
廃棄物削減	○	○	廃棄物の排出量も減少しており、マニフェストも適正に運用していることを確認しております。		
節水	○	○	目標値よりも節水しております。	[環境経営システムの各要素]	
グリーン購入	×	○	今年度受注の大型工事の性格により再生材料を使うことができませんでした。	活動の指標の一部にコストとリンクしたのが見られるが、さらに範囲を広げて環境活動=コストダウンを立証していく。	
化学物質	○	○	該当する材料の使用はありませんでした。	変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
[周囲の変化の状況]					
①外部コミュニケーション記録より 本社、幡多とも苦情はありませんでした。					
②環境関連法規等の改訂動向 今期、当社の事業に関する環境関連法規制等の改定はありませんでした。					

社長の指示を受けての是正内容

環境経営目標は、2018年度まで中長期目標に沿って活動してきましたが、目標値と大きな差が出た項目もあるので2019年度目標より見直します。活動計画は、今までの実績を顧みて整理しなおします。

環境管理責任者: 吉村直則